

# 議会報告会報告書

## ●市政全般について(質問)

No.	発言項目	発言内容(要旨)	会場	市側回答	担当部
1	市政全般について	・鈴木市長に感謝している(よいまちづくりを進めている) ・公民連携の撤回を評価(新市庁舎のたてかえについて進み具合は?)	御所見	新庁舎建設につきましては、平成24年度に基本構想を作成をし、この基本構想をもとに平成25年度、26年度の2カ年で基本・実施設計を進め、平成27年度からの工事着手を目指しております。	企画政策部 財務部
2	倫理規定について	・職員に関する倫理規定の内容について。	御所見	「藤沢市職員倫理規程」は、職員の倫理の確立を目指し、職員の行動規範や報告義務などについて定め、平成13年に施行いたしました。 職員に対しては、今後も研修や課内会議、朝礼などのあらゆる機会を捉えて、公務員倫理の徹底を図ってまいります。	総務部
3	防災に関する市民センターの区割りについて	・ひばり自治会(遠藤地区)では、学区は石川小学校(六会地区)なので、防災に関する会議(情報)等は六会市民センターから入り、また、中学校は滝の沢中(大庭地区)になるが、自治会に滝の沢中の情報等(学校たより)は入ってこない、本来は遠藤地区なので、防災に関する情報等(学校に関する)を含め、遠藤市民センターで対応するようお願いしたい。	遠藤	ひばり自治会については遠藤地区のため、遠藤地区総合防災訓練を始め、防災に関する情報は基本的に遠藤市民センターからお知らせをしているところですが、ご指摘のとおり石川小学校避難施設の運営に関する会議のお知らせにつきましては、六会市民センターからお知らせしております。 学校避難施設につきましては、市民センターの区割りによらず、あくまでもそこに避難してくることが想定される近隣自治会を対象に学校避難施設運営委員会を組織しており、石川小学校の場合は、ひばり自治会を含む遠藤地区の一部の自治会と、六会地区の一部の自治会が対象となります。このように学校避難施設については、必ずしも市民センターの区割りのとおりにはいかず、複数の地区にまたがることもあることから、ご指摘の状況が生じております。ご不便をお掛けいたしますがご理解くださいますようお願いいたします。 また、学校たよりの配布につきましては、基本的には各学校から生徒を通じて保護者への配布という方法で行っております。市民センターでは学校から自治会等に配布等の依頼がある場合に対応しております。	市民自治部
4	原発事故対策について	・事故が発生した場合の対策は決まっているか。	長後	現行の藤沢市地域防災計画では、放射線物質の輸送中に市内で事故が起きたときなどの対応は定めておりましたが、原子力発電所事故についての対応は定めておりませんでした。この度の福島第一原発の事故を教訓に、現在改定中の藤沢市地域防災計画で原発事故後の放射性物質災害の対応についても定めてまいります。	総務部
5	地震・津波など災害対策について	・情報をどのように得たいのか？(避難場所など)	御所見	災害情報については、ラジオ、テレビ、エリアメール、また、屋外にいた場合には、防災行政無線でお知らせします。	総務部
		・ハザードマップ完成後は、どのように受けとれるか？		今年度、各種ハザードマップを盛り込んだ「ふじさわ防災ナビ(小冊子版)」を全戸配布する予定です。	総務部

# 議会報告会報告書

## ●市政全般について(質問)

No.	発言項目	発言内容(要旨)	会場	市側回答	担当部
6	津波対策について	・災害時の行政サービスの停止による復旧は？	御所見	行政サービスの種類によって重要度(復旧優先度)を設定し、その順位に従って人的・物的資産を優先的に投入することで順次復旧させていただきます。	総務部
		・帰宅困難者への対応について。		帰宅困難者対策として、各駅周辺の避難施設等を開設し、対応することとなっています。また、現在、拠点駅(藤沢、辻堂、湘南台、江の島)周辺の商業施設等と帰宅困難者の対策について協議を行っています。	総務部
7	騒音対策について	・航空機騒音防止の防音工事の予算というのは減少傾向にあるのか？	明治	防衛省南関東防衛局に確認しましたところ、現在においても厚木基地周辺における住宅防音工事を希望される方が大勢いることから、増額で予算要求をしているとのこと。実際に平成24年度は前年度に比べ増額しておりますので、減少傾向にあるとはいえません。 また、神奈川県と本市を含む基地関係9市で組織する神奈川県基地関係県市連絡協議会において、財務省へ住宅防音工事に係る予算確保の要望や、防衛省へ住宅防音工事の対象区域拡大等について引き続き粘り強く要請してまいります。	企画政策部
8	市庁舎について	・新庁舎建設に向け、市民によるワークショップを行ってはいかがか？	明治	新庁舎建設の市民ワークショップにつきましては、平成25年度に作成いたします基本設計の中で市民の方のご意見を伺うため、実施いたします。	財務部
9	地域経営会議について	・今後名称変更されるが昨年度と同様に行われるのか。	遠藤	地域経営会議に替わり平成25年度から郷土づくり推進会議として、地域の意見集約、地域の課題解決に向けた方向性の検討や、市への提案、意見、要望、施策の提言、地域の特性を活かした事業の企画及び実施など、市民、地域団体等の市民参画により、地域の特性を活かした郷土愛あふれるまちづくりを推進してまいります。	市民自治部
		・また予算はどうなるのか。		郷土づくり推進会議の運営及び事業等に係る経費は、これまでの補助金による執行を改め、郷土づくり推進会議の意向に基づき、市民センター・公民館が責任を持って円滑な予算執行に努めてまいります。	市民自治部
10	地域経営会議について	・今回「郷土づくり推進会議」が条例ではなく要領で設置となり法的には一歩後退だが、自治力、自治制が損なわれるのではないか。	藤沢	地域経営会議につきましては、その位置づけや市との役割分担及び責任の所在が不明瞭であったため、ボランティアである委員に責任と負担をお掛けする状況がございました。郷土づくり推進会議につきましては、市の設置要綱に基づく組織として位置づけることにより、郷土づくり推進会議が行う地域のまちづくりに係る事業等の責任の所在が市にあることを明確にし、市と郷土づくり推進会議が連携しながら地域のまちづくりを推進してまいりますので、自治力・自治制が損なわれることはありません。	市民自治部
11	要援護者避難対策について	・民生委員と協働してできないか。	遠藤	民生委員に対しても災害時要援護者の情報提供を行っておりますので、自主防災組織の中で役割を決め、連携して避難対策に取り組んでいただきたいと考えております。	福祉部

# 議会報告会報告書

## ●市政全般について(質問)

No.	発言項目	発言内容(要旨)	会場	市側回答	担当部
12	こぶし荘の送迎バス(スマイルバス)について	・現在、ルートとして御所見から石川に巡回され、御所見で定員(22名)に達した場合に石川で乗れない事がしばしば有るので、バスの定員を増やせないのか。 また、巡回ルートも石川から御所見に回るなどの公平性を担保してほしい。	遠藤	「湘南すまいるバス」については、地域の道路状況にあった使用車両によって可能な限り公共交通の不便地域をカバーできるようルート設定をおこない運行していますが、さらなる利便性向上の視点からこれまでの運行実績や利用実態、利用者から寄せられた意見等を踏まえ、運行改善に向けた取り組みを検討してまいります。	福祉部
13	独居高齢者について	・独居高齢者についての見守り。	長後	独居高齢者等の見守りについては、民生委員をはじめ地域包括支援センターなどが中心となって地域の団体と協力しながら見守り体制の構築を図っています。	福祉部
		・在宅の看取りについて。		国は地域ケアを推進し、切れ目の無いサービス提供を行うことの体制づくりをはじめたところであり、今後、国から発出される情報を受け、在宅医療連携等に係る対応を検討してまいります。	福祉部
14	ゴミ有料化について	・ゴミ有料化による財政的な影響について聞かせてほしい。また、収集職員の負担についてどう考えているのか？	明治	平成24年度の有料指定袋による一般廃棄物処理手数料は6億4,966万3,500円で、環境基金(90%)とみどり基金(10%)に積み立てた後、環境行政事業費に充当しております。 また、ごみ処理有料化の目的であったごみの減量についても、可燃ごみや不燃ごみが有料化前との比較で20%程度減量しており、効果があったものと考えております。 収集職員の負担については、戸別収集や平成24年度から実施した資源品目別戸別収集において「可燃ごみとビン」等の合わせ収集を行い、従来と比較して肉体的に負担がある等の職員の声もございましたが、収集コースの見直しや収集車両の改良等を図り、現在収集作業は順調に推移しているものと考えております。	環境部
15	農業について	・円安による重油の値上がりでハウス経営が厳しい農家があるが、市の考えは？	明治	施設園芸における重油高騰の影響については、国の緊急対策等にメニューがありますので、それらを活用していただいた上で、今後、冬期等需要期に更なる価格高騰による農業経営へ影響が懸念される場合は、市としての対策を検討したいと考えております。	経済部
16	計画道路について	・善行長後線は、いつ開通するのか？ゴルフ場は他に移るつもりはないらしい。このまま、計画の見直しはしないのか？	六会	善行長後線の未整備区間につきましては、地権者の方と継続して話し合いを行っております。現在、当該未整備区間の測量を実施しており、今後、ゴルフ練習場の再整備を含めた検討を行ってまいりますので、現時点では開通時期を示せる状況にはございませんが、できるだけ早い時期の開通に向け取り組んでまいります。	土木部
17	都市整備について	・いずみ野線延伸、村岡新駅にはどのくらいのコストがかかるのか？	明治	いずみ野線延伸にかかるコストにつきましては、平成22年6月に県、慶應義塾大学、相模鉄道(株)及び本市で立ち上げた「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」において検討を進め、平成24年6月に検討結果を公表しました。検討会では、1)単線の鉄道で、2)湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近まで地下及び高架構造で延伸し、3)新たに2駅の設置を想定した場合に、概算建設費を約436億円と算出しております。また、本市を含む地方自治体の負担額については、国の「都市鉄道利便増進事業」が適用された場合に、建設費の1/3と整理しております。 市の負担額については、今後、建設費を精査するとともに、国の補助事業の適用に向けて関係者間で協議、調整を図り、整理してまいります。	計画建築部
				村岡新駅については、新駅関連と自由通路関連を合わせた概算事業費として、上下線にそれぞれホームを設置する相対式ホームとした場合は約99億円、上下線で共用する島式ホームとした場合は約109億円という試算を行っております。	都市整備部

# 議会報告会報告書

## ●市政全般について(質問)

No.	発言項目	発言内容(要旨)	会場	市側回答	担当部
18	プレジャーボートについて	・3月いっぱいでは本当にボートは無くなるのか。(防災の意味から)	片瀬	境川におけるプレジャーボートの暫定係留期間が平成25年3月末で終了しましたが、不法係留となる4月以降も多くの船が係留を継続している状況です。 河川管理者である県は、強制撤去なども含めて厳正に対処していくとしておりますが、本市としましても、引き続き排除に向けた対策を県に強く要望していくとともに、市民の安全・安心の観点から、県と緊密に連携し対策に取り組んでまいります。	計画建築部
19	街路樹のせん定について	・街路樹のせん定の必要性は、鳥がうるさい、落葉、標識が見えない、台風時の危険性、があるが、本当にそうであるのか？予算が余っているからではないか？	六会	街路樹の管理は、植物の生育に必ずしも好適とは言い難い道路環境の中で、植物の良好な育成を促すため、定期的な剪定・病害虫の防除・除草・刈り込みなどの作業を行っています。安全かつ快適で、緑豊かな交通空間の確保のため、今後も適正な予算執行に努めてまいります。	都市整備部
20	健康と文化の森について	・健康と文化の森に慶応病院を誘致できない理由は？	明治	平成11年7月に慶應義塾大学との間で、高度医療施設整備事業を共同で推進、早期実現を図る旨の協定を締結し、平成13年度に看護医療学部が開設されていますが、その後、慶應義塾大学病院の経営状況等の理由から、病院開設の先送りが表明され、現在に至っております。	企画政策部
21	藤沢市辻堂西海岸の辻堂浄化センター放射性物質含む焼却灰の希釈施設について	・希釈し処分するより、ためておくべきである。	遠藤	本市の放射性物質を含む下水汚泥焼却灰等は、現行の法令上では産業廃棄物として処理することとされており、かつ、速やかに処理することとされています。多くの自治体でも処分を進めており、保管しておく場合の場所や経費についても大きな課題です。	土木部
		・拡散してしまう希釈処理方法より、ほかに様々な処理方法を考えていくべきである。		各方面で研究開発が進められている放射性物質の低減化や安全な処理処分の技術の動向を注視し、実用性や成果の高いものについては、処理方策の検討対象としてまいります。	土木部
		・行政に提言するためにはどのような活動を行っていけばよいのか知りたい。		市政への提言の方法は、意見・提案箱への投稿(用紙又はインターネット)、市長陳情などがございます。	土木部
22	放射性廃棄物焼却灰について	・その安全性の確認	長後	放射性物質を含む下水汚泥焼却灰等は、飛散防止のため湿潤化を行ったうえ、強度と耐光性に優れた専用袋に充填し、屋内に保管しております。また、焼却灰等の放射性物質濃度測定及び浄化センター敷地境界の放射線量のモニタリングを月2回の頻度で実施し、安全を確認しております。	土木部
		・8月から希釈施設は稼働するのか。		希釈処理施設の設置につきましては、当面、見合わせることにしました。	土木部
23	下水の汚泥について	・下水の汚泥の処理について、市民の声を聴く機会を作って欲しい。また説明会等を開催して欲しい。	片瀬	ご要望に応じて、説明会を実施しています。	土木部
		・予算が通ったことで新聞報道のように進んでしまうのか。		希釈処理施設の設置につきましては、当面、見合わせることにしました。	土木部
		・藤沢市内に保管する状況等の議論はあったのか。その議論の末に、予算は通過したのか？		辻堂及び大清水浄化センターに一時的に保管することについて、検討段階から議会に報告してまいりました。25年度予算については特に議論はありませんでした。	土木部

# 議会報告会報告書

## ●市政全般について(質問)

No.	発言項目	発言内容(要旨)	会場	市側回答	担当部
24	放射能対策について	・神奈川新聞記事に放射能物質含む焼却灰の処理推進へ希釈施設を創設するとの事が掲載されたが、2月議会で決定されたのか？	善行	2月議会において、承認いただきました。	土木部
		・どうして拡散するのか？(ドイツ国ではいけないことになっているか)。		本市の放射性物質を含む下水汚泥焼却灰等は、現行の法令上では産業廃棄物として処理することとされており、かつ、速やかに処理することとされています。実際に多くの自治体でも処分が進められています。	土木部
		・新潟県泉田知事は大臣あてに国の基準を見直すよう要請しているようだが、藤沢市でも行ったのか？		本市では、そのような要請は行っておりません	土木部
		・この希釈施設を創設するにあたり、パブコメをやったらどうか？		パブリックコメント制度は、政策に関する基本計画や条例の制定等が対象で、希釈処理施設の設置につきましては、その対象外となりますので、実施する予定はございません。	土木部
25	道路について	・自宅近所の道路に関して相談をしたいのだが、どこにすれば良いのか？	明治	<p>相談事項によって、担当課は概ね以下のとおりとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する道路(以下、市道という。)とそれ以外の道路の区別…土木部道路管理課</li> <li>・市道の管理(認定、境界、寄付、占用、自費施行等)に関する事…土木部道路管理課</li> <li>・市道の修繕に関する事…土木部土木維持課又は各地区市民センター</li> <li>・市道の改良等、整備に関する事…土木部道路整備課</li> <li>・市道以外の道路のうち国県道に関する事…土木部土木計画課</li> <li>・都市計画道路に関する事…計画建築部都市計画課</li> <li>・建築基準法に規定する道路の種別に関する事…計画建築部建築指導課</li> <li>・開発行為に関する事…計画建築部開発業務課</li> </ul> <p>※なお、内容によっては他課・機関にご案内する場合がありますのであらかじめご承知おください。</p>	土木部
26	上下水道の整備について	・下水道、上水道が整備出来ない地域があるがどう考えているのか？	明治	<p>本市の下水道に関する全体計画では、市域のうち一定規模の集落を形成している等、投資効果が高い区域と、それ以外の区域とに区分して、前者を下水道整備区域、後者を合併処理浄化槽等設置促進区域としております。下水道整備区域内普及率は2013年4月1日現在95%、水洗化普及率は97.8%となっております。</p> <p>短期的な事業計画では、下水道整備区域の中でさらに効果が高いと考えられる区域から順次整備を進め、進捗に伴い事業区域を拡大しております。</p> <p>藤沢市内の上水道整備に関しては神奈川県企業庁藤沢水道営業所工務課にお問い合わせください。</p>	土木部